

タテ科イヌタテ属

ホンバイヌタテ (細葉犬蓼)

Persicaria erectominor (Makino) Nakai var. *trigonocarpa* (Makino) H.Hara

の位置づけ

環境省



千葉県



自生環境

河川敷の湿地

原産地

日本在来

生育を脅かす要因



河川敷に生える植物は、河川工事などの影響を受けやすい傾向があります。また、繁茂する大型の外来植物によって、生育できる場所を奪われてしまうこともしばしばです。

特徴

- ☆ イヌタテと同じ仲間ですが、姿も少し似ていますが、分類上は全くちがう種類で、生育環境は河川敷の湿った場所に限られます。全国的には珍しい種類ですが、野田市内では利根川や江戸川の河川敷に比較的普通に見ることができます。
- ☆ イヌタテの花穂が赤紫色であるのに対して、ホンバイヌタテはサーモンピンクで、慣れると花色である程度判別がつくようになります。さらに細かいちがいで、花びらに黄緑色の丸いポチ（円盤状の腺点）がいくつかあります。葉もイヌタテに比べると細長く、葉裏にも丸いポチ（円盤状の腺点）が見られます。

市内の分布状況

利根川や江戸川の河川敷に群生しますが、場所や数は年によって大きく変動します。河川域以外の場所にはほとんど見かけません。



河川敷にくらす植物

河川敷は、ほかの環境では見られないような貴重な植物たちの宝庫で、ホンバイヌタテもその一つです。河川敷でくらす植物は、年によって数の増減が激しいのが特徴です。洪水などで土が混ざると、土中に眠っていたタネがいつせいに芽生えて花開きます。河川敷の植物はタネの寿命がとて長く、土の中で生育に適した環境になるまでずっと待機する傾向があります。

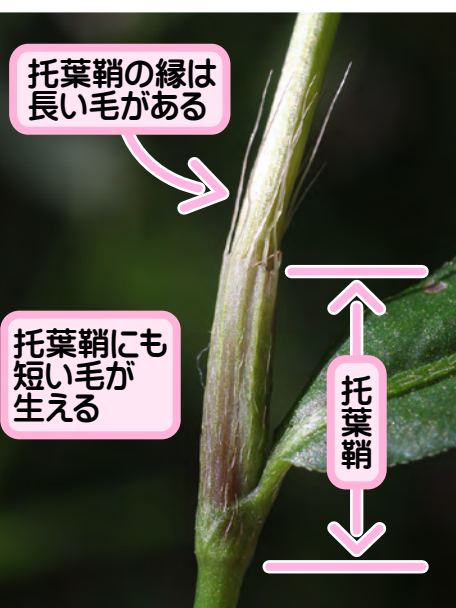
花の穂はサーモンピンク。ほかのタテ類には見られない花色。



葉は細長く先がとがる



托葉鞘の縁は長い毛がある



托葉鞘にも短い毛が生える

托葉鞘

花に黄緑色のポチ（腺点）がいくつかつく



葉の裏にも腺点のポチが多い



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

